



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月5日

上場会社名 株式会社ハウス オブ ローゼ 上場取引所 東
 コード番号 7506 URL <https://www.houseofrose.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川口 善弘
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 佐藤 哲（TEL）03-5114-5800
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,571	△4.2	△259	—	△257	—	△239	—
2025年3月期第1四半期	2,683	△1.4	△145	—	△143	—	△130	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△50.99	—
2025年3月期第1四半期	△27.71	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,521	5,342	62.7
2025年3月期	8,405	5,644	67.2

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 5,342百万円 2025年3月期 5,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		12.50	—	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,120	4.5	200	63.9	205	37.8	46	△42.2	9.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	4,703,063株	2025年3月期	4,703,063株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	633株	2025年3月期	633株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	4,702,430株	2025年3月期1Q	4,702,430株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(企業結合等関係)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善は見られたものの、物価高の進行に伴う実質賃金の減少等により個人消費の下振れが懸念されるほか、米国の関税政策の動向、不安定な中東情勢などの影響から国内景気の先行きに不透明感が残るなど、経済環境は厳しさが続いております。このような中、当社は2026年3月期を始期とする新3ヶ年中期経営計画を策定し、新たな当社の価値創造に向け、攻めの姿勢で諸課題にチャレンジし、経営目標の達成に取り組んでおります。

(直営店商品販売事業)

ハウス オブ ローゼ直営店は、ハンドウォッシュ（お客様の手を顔に見立て、洗顔料等を使用しお客様の手に触れながら洗顔方法をお伝えする、当社の強みである販売手法）を通じ、お客様一人ひとりに対する「ふれる（触れる）接客」を更に強化することにより、スキンケア化粧品の上増と共により業績の向上に取り組んでおります。新3ヶ年中期経営計画においては、当社の強みの源泉である「素肌みがき」に改めてフォーカスし、顧客関係性の深化を通じたブランド価値向上に注力しております。

また、お客さまの利便性向上と店舗運営の効率化を図ることを目的として、昨年下半年より本格導入した全店舗の商品購入ポイントの共通化（1 ID化）については、当初は店頭オペレーションの変更が接客時間の確保に影響したものの、定着しつつあり、登録会員の拡大及び顧客サービスの向上に繋がっております。当第1四半期においては、気温の上昇を背景にクール感のある夏季限定ボディケア商品が好調に推移したものの、優良顧客を対象とする大型促販施策の時期変更、スキンケア商品の伸び悩みによる客単価の減少及び退店影響等により、売上高は前年同期比7.5%減となりました。

EC事業は、自社運営サイトについて、1 ID化に伴いLINE会員のコーポレートサイト経由での流入が増加したことが会員数増加に寄与し、売上高は前年同期比5.5%増となりました。またAmazonモールを始めとする外部モールについては、夏季商材が牽引したものの、主力商品であるボディスムーザーの苦戦により前年同期比で微減となりました。その結果、EC事業全体の売上高は、2.1%増となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は19億43百万円（前年同期比5.8%減）と減収になり、経費面では賃上げによる人件費の増加に加え、「MAMA BUTTER」（ママバター）ブランド譲受に係る初期費用の計上等により営業損失2億65百万円（前年同期は営業損失1億81百万円）と損失額が拡大しました。

(卸売販売事業)

卸販売事業は、個人オーナー店舗向け卸において、店舗の退店が影響し、売上高は前年同期比で約11%の減少となりました。大手量販店向け卸は、一般店舗及びセルフ販売型店舗において夏季限定商品が総じて好調に推移したほか、大口受注前倒しがあったため、売上高は前年同期比で約3%増加しました。また一般卸は、ボディスムーザーの苦戦や東京ディズニーランドの集客低迷があったものの、中国越境ECの伸長により売上高は前年同期比で約8%増加しました。以上の結果、当事業売上高は3億33百万円（前年同期比4.1%増）となりましたが、「MAMA BUTTER」（ママバター）ブランド譲受に係る初期費用の計上等により営業損失は33百万円（前年同期は営業損失11百万円）と損失額が拡大しました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、物価高の進行に伴い消費者の節約志向が顕在化したことから、利用客数が伸び悩みました。また、気温の上昇に伴い当社の夏季限定クール商品を利用した「爽快クールコース」需要や高単価コースが伸長したことで客単価は前年同期水準を維持したものの、退店影響により売上高は前年同期比13.3%減となりました。

カーブス事業は、健康志向の高まりや、フランチャイザーであるカーブスジャパンのTVCM放映効果により入会者が増加し、会員数は期初比で約290名の純増となりました。また、物販についても販売強化施策が奏功したことで、売上高は前年同期比4.4%増となりました。

以上の結果、当事業売上高は2億93百万円（前年同期比1.8%減）と減収になり、カーブス店舗の移転に伴う物件費の増加等により営業利益は39百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

当第1四半期の全社売上高は25億71百万円（前年同期比4.2%減）となりました。経費面では賃上げによる人件費の増加に加え、「MAMA BUTTER」（ママバター）ブランド譲受に係る初期費用の計上等により、営業損失2億59百万円（前年同期は営業損失1億45百万円）、四半期純損失は2億39百万円（前年同期は純損失1億30百万円）と損失額が拡大しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より1億15百万円増加し、85億21百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より66百万円減少し、53億17百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億81百万円減少し、売掛金が1億7百万円、商品及び製品が71百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より1億82百万円増加し、32億4百万円となりました。これは主に「MAMA BUTTER」(ママバター)ブランド譲受に伴い、無形固定資産が1億35百万円増加したことによるものであります。

②負債

負債合計は、前事業年度末より4億17百万円増加し、31億78百万円となりました。これは主に電子記録債務が3億23百万円、その他流動負債が3億16百万円増加し、支払手形及び買掛金が37百万円、賞与引当金が1億19百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前事業年度末より3億2百万円減少し、53億42百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億98百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(2025年5月14日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,029,873	2,748,751
売掛金	837,154	944,355
商品及び製品	1,440,756	1,512,240
その他	76,999	112,707
貸倒引当金	△1,049	△1,049
流動資産合計	5,383,733	5,317,005
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	313,078	331,029
工具、器具及び備品(純額)	17,498	15,757
土地	1,066,868	1,066,868
リース資産(純額)	84,855	76,671
有形固定資産合計	1,482,301	1,490,327
無形固定資産	5,250	140,947
投資その他の資産		
差入保証金	520,352	518,780
その他	1,014,160	1,054,056
投資その他の資産合計	1,534,513	1,572,836
固定資産合計	3,022,066	3,204,111
資産合計	8,405,799	8,521,116
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,025	80,246
電子記録債務	333,938	657,695
未払法人税等	75,720	28,655
賞与引当金	162,304	42,870
その他	588,351	904,972
流動負債合計	1,278,341	1,714,439
固定負債		
退職給付引当金	1,194,507	1,212,592
役員退職慰労引当金	126,374	92,674
資産除去債務	127,965	131,334
その他	33,971	27,544
固定負債合計	1,482,818	1,464,145
負債合計	2,761,159	3,178,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	3,411,957	3,113,409
自己株式	△724	△724
株主資本合計	5,628,136	5,329,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,237	56,676
土地再評価差額金	△43,733	△43,733
評価・換算差額等合計	16,503	12,942
純資産合計	5,644,640	5,342,531
負債純資産合計	8,405,799	8,521,116

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,683,714	2,571,335
売上原価	796,967	772,397
売上総利益	1,886,747	1,798,937
販売費及び一般管理費	2,032,181	2,058,772
営業損失(△)	△145,433	△259,834
営業外収益		
受取配当金	1,741	1,410
その他	895	1,143
営業外収益合計	2,637	2,553
営業外費用		
支払利息	490	421
その他	104	102
営業外費用合計	594	523
経常損失(△)	△143,390	△257,804
税引前四半期純損失(△)	△143,390	△257,804
法人税、住民税及び事業税	23,066	18,500
法人税等調整額	△36,159	△36,536
法人税等合計	△13,092	△18,036
四半期純損失(△)	△130,297	△239,767

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(資産除去債務の会計処理の変更)

当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務に係る資産除去債務の計上は、従来、当該不動産賃貸借契約に係る敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上する方法によっておりましたが、当事業年度から、原状回復費用を資産除去債務として負債計上し、これに対応する除去費用を有形固定資産に含めて償却する方法に変更しております。

この変更は、固定資産システムを導入後、数年が経過し、安定稼働したことから、従来の会計方針を変更することが財政状態及び経営成績をより適切に反映できると判断したことによるものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度の貸借対照表においては「固定資産」の「リース資産(純額)」が9百万円、「投資その他の資産」の「差入保証金」が64百万円、「固定負債」の「資産除去債務」が80百万円増加し、「投資その他の資産」の「その他」が1百万円減少しております。前第1四半期累計期間の損益計算書に与える影響は軽微であります。

また、前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前事業年度の利益剰余金の期首残高は7百万円減少しております。

なお、これらの結果、前事業年度の1株当たり純資産額は1円68銭減少し、前第1四半期累計期間の1株当たり四半期当期純利益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	直営店商品販売事業	卸販売事業	直営店サービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,063,540	320,750	299,424	2,683,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,063,540	320,750	299,424	2,683,714
セグメント利益又は損失(△)	△181,990	△11,281	47,839	△145,433

(注)前第1四半期累計期間のセグメント利益又は損失(△)は、会計方針の変更による遡及適用後のセグメント利益又は損失(△)となっております。なお、会計方針の変更による影響額は軽微であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	直営店商品販売事業	卸販売事業	直営店サービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,943,619	333,817	293,898	2,571,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,943,619	333,817	293,898	2,571,335
セグメント利益又は損失(△)	△265,873	△33,891	39,930	△259,834

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期累計期間に「MAMA BUTTER」(ママバター)ブランド譲受により、各報告セグメントに配分していない全社資産においてのれんの金額が136,111千円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(事業譲受)

当社は、2025年4月15日開催の取締役会において、株式会社ビーバイイーが運営する化粧品企画・製造・販売・仕入業務のうち、「MAMA BUTTER」(ママバター)ブランドを対象とする事業の譲受を決議し、2025年4月21日付で事業譲渡契約を締結いたしました。当契約に基づき2025年4月28日付で事業の譲受を完了しております。

1. 事業譲受の概要

① 事業譲受の目的

当社の取扱商品と親和性があり、一定の顧客基盤及び販売網を確保していることから、当社の化粧品販売事業における規模拡大、企業価値向上に寄与するものと判断し、本件事業譲渡契約の締結を決議いたしました。

② 相手先企業の名称及び事業内容

相手先の名称 株式会社ビーバイイー

事業の内容 「MAMA BUTTER」(ママバター)ブランドを対象とする化粧品企画・製造・仕入・販売に関する業務

③ 事業譲受日

2025年4月28日

④ 事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 財務諸表に含まれている取得した事業の業績の期間

2025年4月28日から2025年6月30日

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 140,000千円

取得原価 140,000千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等：31,000千円

5. 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

① 発生したのれん金額 140,000千円

② 発生原因 主として今後の事業展開により期待される将来の期待収益力であります。

③ 償却方法及び償却期間 6年間にわたる均等償却

6. 事業譲受日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	16,933千円	19,936千円